

さみどり

にのみや学園

二宮町立一色小学校 学校だより
令和5年度 第6号 (12/22発行)



一色小学校は創立59年目を迎えました。

2023年もあと少しで終わりとなります。2学期には様々な学校行事等が行われ、子どもたちの笑顔をたくさん見ることができました。

2学期の各学年の様子は…

1年生は、1学期から引き続き、スタートカリキュラムの取組の1つとして、「わくわくタイム」「のびのび学びタイム」を取り入れました。国語、生活科、図工を子どもたちの「やりたい。」という思いを大事に、主体的に取り組む時間です。学習の中で、取り入れて



きたタブレット学習(お絵かき、資料作成、写真アルバム作成、プログラミング、読み書き計算)を活用したり、



図画工作などをしたりしました。日頃の授業では、友だちと関わり合い、学び方を学ぶ中で主体的に楽しく学ぶ姿が多く見られました。

2年生は、道徳の時間に、「三くみ大すき」という、自分たちのクラスがもっと楽しくなるために朝の会の係の人が替え歌を考えて歌った、というお話を読んだ後のことです。2年1組は?と聞くと、「なかがいい」「やさしい」「みんなで協力できる」…と次々に手が上がり、笑顔



があふれました。友達のこと、クラスのことを考えられる、すてきな2年生に成長していました。とても頼もしく感じます。生活科で

行った「町探検」も班で協力して、お店の人にインタビューをすることができました。



3年生は、町の農家さんのご協力で、農業体験に行きました。原木椎茸圃場見学では、機械で木に菌を植え付けているところを見たり、フォークリフトを動かしてみたりしました。玉ねぎの定植体験では、1人20本以上の苗を植えました。農家の方々



が驚くほど手際よく作業をしていました。今回植えた玉ねぎは、4年生になったときに収穫する予定です。みかん収穫体験では、大きくて食べ応え満点のみかんを1人8個も持ち帰ることができました。他にも豆腐作りをしたり、

消防士さんと防火について考えたり、充実した2学期を過ごすことができました。



4年生は、人形劇団「ひとみ座」のみなさんと共演したり、最先端レスキューロボットに触れたり、板寫さんや盲導犬テストと一緒に勉強したり、二宮町消防本部の方々に消火器の使い方を教えていただいたりと、様々な体験を通して学びが深まりました。その他にも、にのみや学園4年生全クラスでオンライン給食を食べたり、友情の山に作った「わくわくネイチャーランド」に一色小と山西小の1年生を招待したりと、多くの人と関わる中で楽しく過ごすことができました。



5年生は、総合的な学習の時間で、1学期に植えた稲の収穫、脱穀を行いました。脱穀の仕方を調べて、いろいろな方法で、クラスのみんなで協力して行うことができました。脱穀したお米はもみすり、精米をしてもらい、家庭科の時間に調理実習として、お味噌汁と一緒にご飯を炊き、おいしく食べるすることができました。自分たちで育てたお米は、いつも以上においしく感じたことと思います。



6年生は、総合的な学習の時間に、「人権について考えよう」をテーマに取り組んできました。子どもの人権や高齢者の人権、疾病等にかかる人権、性的マイノリティの人権など、様々な人権課題を取り上げ、自分で考えたり友達と話し合ったりして、理解・考えを深めていきました。授業参観では、保護者の方々と一緒にグループワークに



挑戦しました。お互いを認め合い、下級生にも優しい6年生は、中学校への進学を前に、とても大事なテーマについて考えることができました。

なかよし・ひまわり級では、春から畑で育てていたサツマイモを使って、校庭で「焼き芋」をしました。自分たちで枝や落ち葉を集め、当日の火の管理はスマイルネットサポーターの方々にもご協



力いただきました。あったかい焼き芋を食べて、子どもたちは「おいしい!」と笑顔になりました。また、畑で収穫した大根を使った料理にもチャレンジしました。



どの学年も、わくわくがあふれる充実した2学期となりました。2024年もよろしくお願ひします。

